

# 徳丸北野神社絵馬・扁額一式

(とくまるきたのじんじや えま へんがく いっしき)

板橋区指定有形文化財(歴史資料) 平成3年3月8日指定

所在地：板橋区徳丸6-34-3

交通：東武東上線「東武練馬」駅徒歩15分

都営三田線「高島平」駅 徒歩20分

国際興業バス「紅梅小学校」徒歩5分

[赤羽駅西口⇄成増駅北口(赤02)]

江戸時代の徳丸本村・脇村の鎮守である北野神社は、国重要無形民俗文化財である「田遊び」や区無形民俗文化財である「獅子舞」が奉納される神社として広く知られています。当社には、嘉永3年(1850)から昭和33年(1958)にかけて奉納された、絵馬16面・扁額20面があり、これらが文化財となっています。

絵馬の中には、江戸～明治期にかけて徳丸村の講中が伊勢神宮・榛名山・大山・江ノ島・出羽三山・成田山を参詣した記念に奉納したものがあり、当時の村人が日本各地へ盛んに参拝していた実態をうかがい知ることができます。また、明治末年に徳丸周辺を描いた蓼坡という洋画家による神社の境内図(写真)も貴重なものの一つです。

扁額には、嘉永3年に俳句会により奉納された扁額「四季混類発句合」があり、発句者が徳丸のほかに下赤塚・四葉・志村・小豆沢・十条・板橋・練馬・白子・新倉まで広がり、交流を行っていた状況が窺われます。なおこれは区内唯一の発句会の扁額となっています。

